

学生が「共有」を使用したときの確認法

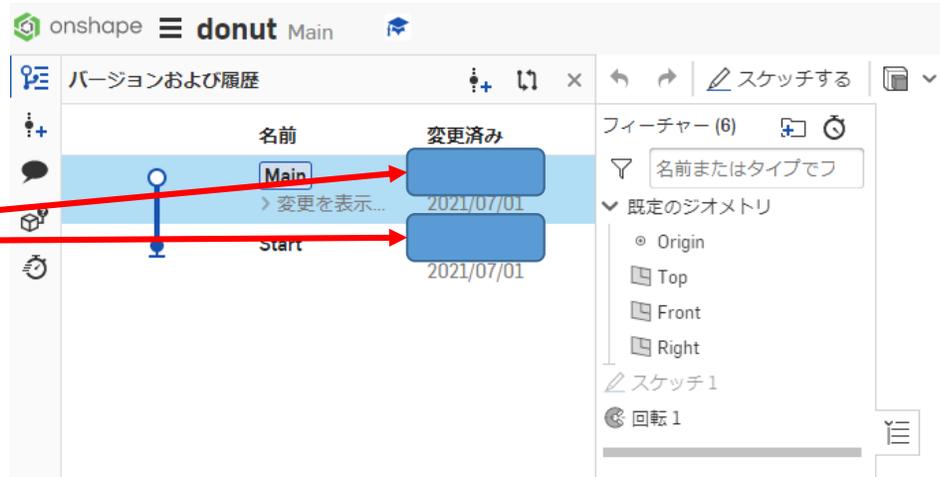
- 学生が「共有」を使用して他の学生からデータをもたらした時の確認法です
- 「ワークスペースをコピー」を用いてコピーして出来たドキュメントかどうかを確認する方法はあります

共有されたドキュメント (1)

- 例としてA君が作成したドキュメント「ドーナッツ」をB君が共有しました
- 右図はB君のOnshapeです

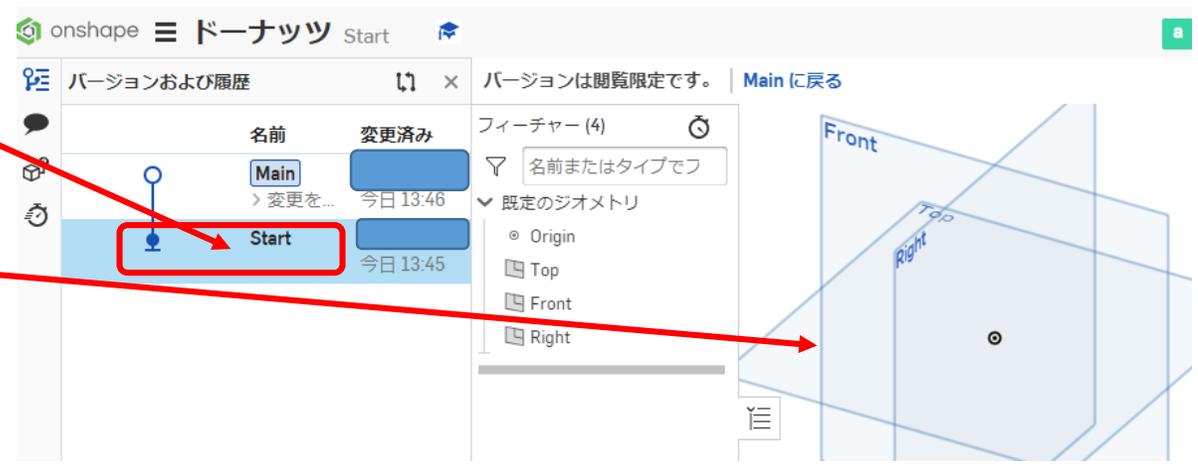


- 「ドーナッツ」を開くと「バージョンおよび履歴」の「変更済み」が[Start][Main]共にドキュメント作成者のA君になっています

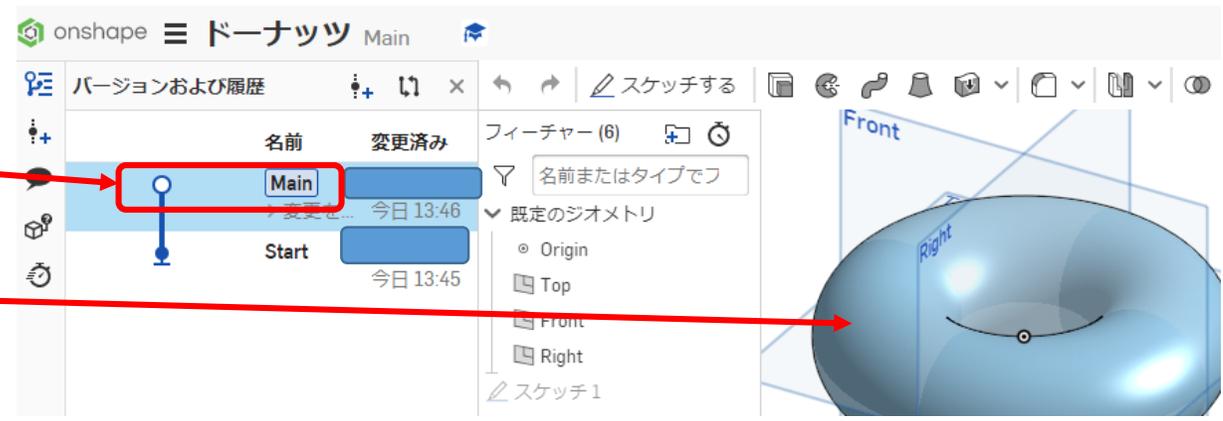


共有されたドキュメント (2)

- 「バージョンおよび履歴」の[Start]をクリックすると右のワークスペースには何も無いことがわかります
- 当然 Start 時は何もありませんから当然です



- [Main]をクリックすると右のワークスペースにはA君が作成したドーナツが現れます
- 当然、パーツのドーナツを作成したのでワークスペースにドーナツが存在します

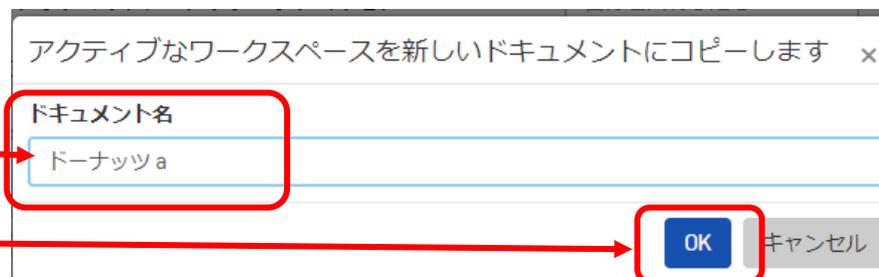


共有されたドキュメント (3) 「ワークスペースをコピー」を使用

- A君のドキュメントを共有しているB君が「ドーナッツ」を右クリックして「ワークスペースをコピー」を選ぶ



- 「ドーナッツa」というドキュメント名にします
- [OK]を押します

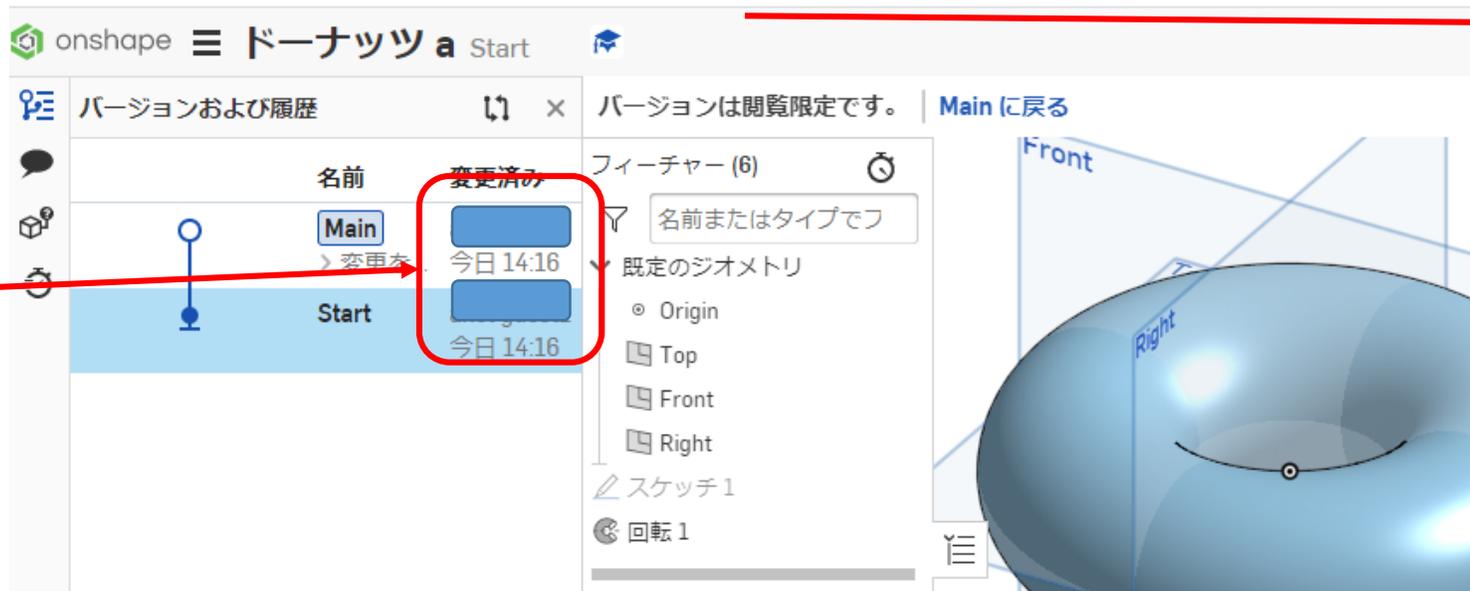


共有されたドキュメント（4） 「ワークスペースをコピー」を使用

- B君の「自分が作成したもの」に「ドーナツa」がコピーされていてできています
- 「ドーナツa」を開きます



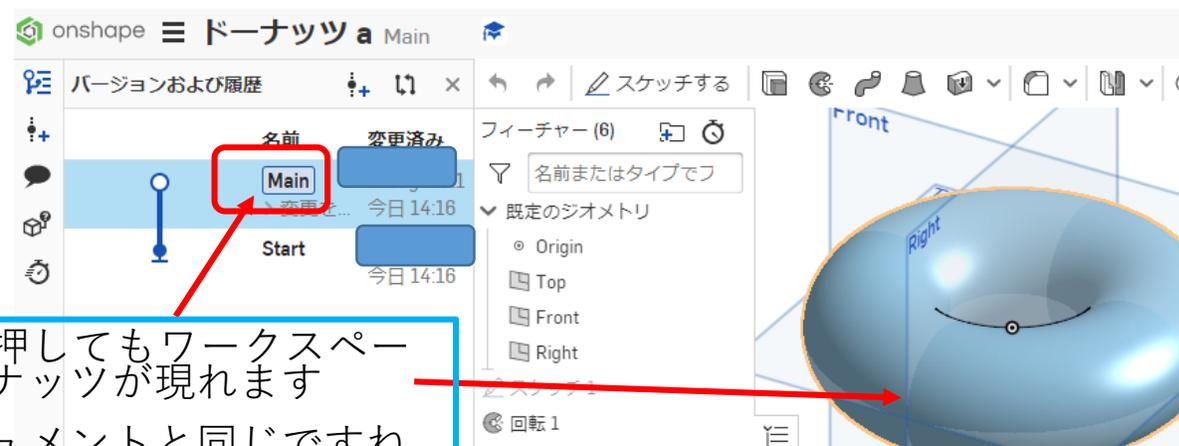
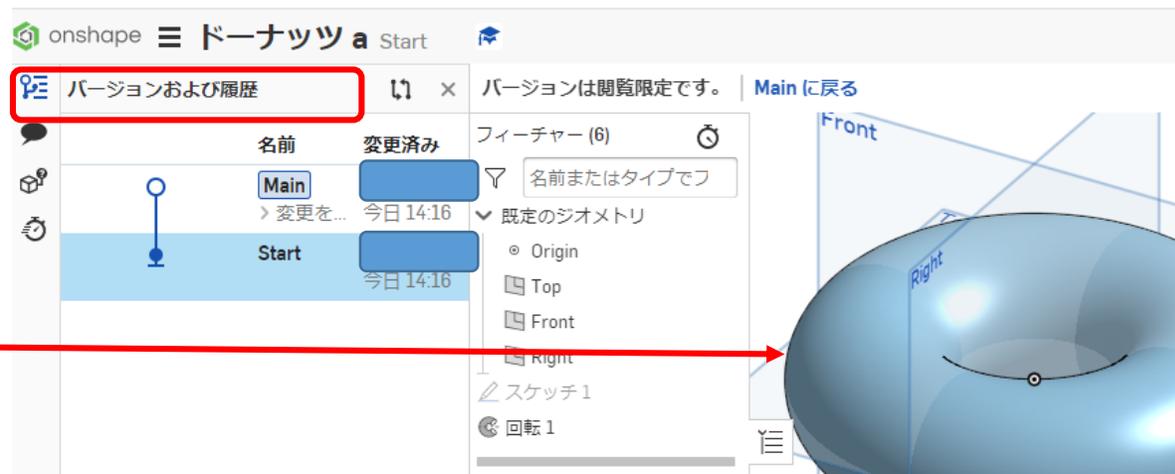
- 「バージョンおよび履歴」の「変更済み」の名前がB君の名前になっています
- 作成者が変わってしまってますね
- これでは「ワークスペースのコピー」を使った不正は防げませんね



共有されたドキュメント (5) 「ワークスペースをコピー」を使用

大丈夫です

- 「バージョンおよび履歴」の[Start]をクリックするとワークスペースにドーナッツが現れます
- コピー時にすでにパーツとしてドーナッツがあるので履歴の[Start]にドーナッツが現れるのですね
- これがA君が作成した元のドキュメントと異なるところです ⇒ **これでコピーがわかります**



- [Main]を押してもワークスペースにドーナッツが現れます
- 元のドキュメントと同じですね